

情報部

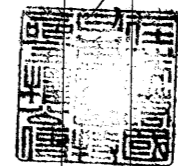
分類 1600.1-9

外務部 大司馬 廣田弘毅 殿	特命全權公使 白鳥敏夫	北政三國 月報送付ノ件	本年十一月及十二月、北政三國事情別紙ノ 正報送付ノ事、尙未相成ニ
-------------------------	----------------	----------------	-------------------------------------

昭和九年四月拾日 接

昭和九年三月十七日

在瑞典



情 8.5.2 庶

歐 三

在瑞典日本公使館

(甲) 瑞典ノ奇	1 記
(一) 國降問題	
一 独瑞関係	
(1) 独新公使ノ著任	
瑞典駐米特使新公使「ド・ヴィド公 (Prince de Wied)」ハ十一月五日	
瑞典皇帝ニ信任状捧呈シテ、前任公使「フォン・ローゼンベルグ」ハ	
士百古へ轉任ナリ	
(2) 独逸ノ對外債務利子不拂	
独逸銀行總裁ハ十一月十日「ボール」商會會議アリ、此ノ独逸ノ對	
產業界ノ形勢並外國ノ緊急ニ對シテ、其ノ對外債務ニ對	
スル利子ヲ支拂フハ全ク不可能ナル旨演説セル點付ヘラレタルカ有ハ	
独逸ノ對外債務ノ有る由トシテ、相商肉心ヲ有スヘキ問題ナルシ	

在瑞典日本公使館

(イ)「ライオン」裁判に於ける抗辯
 在スウェーデンの著名な裁判官ハ十二月十九日「トルゲル」裁判官の死に於て判事として
 行ヒ約千五百名の著名な裁判官之を以テ「ライオン」裁判官の判決に及
 び、其の抗辯ヲナセリ

(ニ)瑞典文壇「セルロ」に対する論議
 林道ハ一月ヨリ瑞典文壇「セルロ」に対する論議ヲ一五〇名ヨリ三〇名迄
 引上ルコトナセリト報道に於て其の地ニ於テ右ノ上ヨリ一九三二年迄の約
 四万冊ノ「セルロ」林道に對出セル瑞典「セルロ」工業ハ大損害ヲ受ケレト
 危惧スルモノナリ

(ホ)林道「ボイコット」
 「サンカリスト」機関紙「アルベール」ハ「トレードユニオン」林道高品ノ不買
 ヲ繼續スヘキ旨ヲ上訴シ「ゴッペンブルグ」報「サントラー」外相カ不買
 2及於テ高品ノ抗議(去年十一月十号)其等ニ對シ「五〇号」ヲ以テ「ソ」

在瑞典日本公使館

ニ對シ不買成ノ意ヲ申送ルニトセリ

(ウ)林道追放後高品ノ瑞典入國
 瑞典社会の調査「一九三三年四月」日誌「十一月下旬迄」ニ於テ林道在任ノ
 猶存人ニ對シ瑞典入國ヲボタルモノ「一九三三年十一月」日誌「十一月」日誌
 行可セシムルヲ瑞典「礼」其ノ職務ヲ行フコトヲ行可セシムルヲ「林道」
 本人中「高品」生「林道」及「高品」各報「林道」ヲ有スルモノ「林道」
 ニ「ボリ」デン「全」業「内」部

瑞典北部「ラプラン」ド、礼「ボリ」デン「(Borjens)」全「業」ハ「従」来「イ」ッ
 シ「ユ」ニ「ゲ」ル「系」ノ「合」社「ヨ」リ「離」る「者」多シ「各」リ「タル」其「ノ」般「英」口「コ」ニ「ク」テ「ド」
 「ゴ」ル「ド」「フ」イ「ル」ド「社」ト「シ」テ「モ」高「品」ノ「交」渉「開」始「セ」ル「コ」ト「ノ」風「評」アリ「シ」ル
 「シ」テ「破」産「財」團「ノ」理「人」ヨリ「同」全「業」ノ「全」部「ヲ」分「割」シ「テ」交「渉」セ「ル」旨「ヲ」
 告「ス」又「大」高「品」ノ「礼」ヲ「モ」同「全」業「ノ」外「口」全「社」ニ「對」シ「テ」議「論」セ「ル」コ「ト」
 及「於」テ「台」述「ヘ」タル「理」由「ヲ」示「シ」テ「相」當「ノ」相「據」ヲ「示」シ「テ」之「ノ」如「ク

在瑞典日本公使館

ミレノ前記英の合衆例、其術の改良より産金額を増加し
 けへキ又この合衆の有望を視し引受方希望し居る也ナルモ
 瑞勞政府、此の家の利益、見地、同合衆の合衆に与るるを
 命、及外レリ一般輿論之ヲ支拂レリ
 三、株合衆法之由スル「スカンヂナウイア」諸の合衆
 十二月十八日當地上瑞勞司法者来り「スタンベン」株合衆
 由スル之「ト、スカンヂナウイア」諸の協力、可能性研究の段、同合衆
 ヲ改正セル「林、越スル」未年夏「ストウ」モル、此の条件合衆の由
 へ「丁林」瑞勞の瑞勞之、若加ス（オ）也ナリ
 四、休戦紀念日、際「サンドラー」外相「下」瑞勞手和協合、此の演説
 左ノ通
 「サンドラー」外相
 積極的平和を世に協立、締結、止マラス心理の状況、迄立入り平和

在瑞典日本公使館

各の民、行動ノ決定の指導原理トナラサル（カ）ラス大衆ノ直接ノ指導
 力也ナル新時代ノ民ノ介在者、在キ来レルカ、之幸ノ否、年々、平和ニ對シ
 余リ大ナル信心ヲ有セサルヲ認メサルヲ思ハス、瑞勞國ナル永續性アル平和ハ
 恐怖ノ上ニ建設セラル、ニアラスコトヲ勇ム、上ニ建設セラル（カ）ラス平和ハ平
 和ヲ擁護スルノ優位アリト、確信ヲ有年、吹込ミタル英、此の平和主義
 之、何リシニ建設セラル（レ）此ノ精神、本ノ平和、精神の原動力ナル言
 解、何リシニ現ニサル、モニアラス、現代ノ要求スル、精神の原動力トシテ、
 ナリ吾等ノ要求スル、平和ノ精神、此の精神の原動力ナリ、自由ノ利益ト
 人道ノ、之、及びセラル、本ノ如キ、此の平和主義アル、和ノ来リコトヲ
 希フ
 「ラゲンワルド、モエ」（「ノベル」協合理子）
 戦前、新ニ十人氏ノ家、但知所及ノ階級ノ唯一ノ創造者ナリト、我
 念ハ消滅セシメサル（カ）ラス、平和ノ心理ニシテ、除キセサル（カ）ラス、之カ

在瑞典日本公使館

手札ノ法則ノ為ニ建テント欲スル新ナル世化ノ方則（ハ）迄程ナリ
 「エストマン」(ウプサラ)大各教授
 吾等ノ教育ハ我中ノ家主義ノ衝突ナリ從テ我及々々ノ降極ノ殊ニ
 降極ノ生シヨリ吾人ハ聯盟創設ノ出方ナリ精神ヲ養フスルニ同時ニ
 ソノ欠陥ヲモ認ムルモノナリ聯盟ニハ血ヲ欠キ居リ形亦血氣ハ何等ノ
 價値ヲ有スルモノニアラス人類ハ有セサルヲクマサルニ各ノ氏ノ生存状態ニ
 対スルヲ解ク伴フ在界ノ正義ト吾人ハ結局同一ノ船ニ乗リタルモノナリト
 ノ同察ナリ
 五、在波新瑞典公使使新設内閣
 今般瑞典ハ、ラハランニ公使使ヲ新設スルノ意向ヲ有シ在極新瑞典公使使
 者ヲ「ロイヤルシムト」トシ在「ソ」研公在「ラ」ニ公使使者トシ「任命セシ
 大、巴金帝駐ノアルセント」ニ在「ソ」委員令ハ十月十日「ゴフォル」兵者工場
 視察ノ途「スト」ホルム」ニ在「ソ」ナリ

在瑞典日本公使館

(二) (一) 内閣問題

一、前閣務大リ「エストマン」ウプサラ「礼」ル演説
 去年一月初ノ角タルハ「議」令、対スル準備工作ノ各党派殊ニ「党」氏党
 ノ活躍ニ外「政」令大体系「概」理、増強セリ
 前閣務大リ「エストマン」ハ十二月十七日「ウプサラ」ニ「礼」ル演説ニ失業救済
 内閣ニ内レ社会党ニ「支」持ヲナシ「礼」ル自由党ニ非難スルニ「党」氏党ハ
 右党トシテ「選」挙「プ」ラ「カ」ニ「常」ニ「掲」記レ居ル「身」ノ「中」心ナリ「支」持ヲ
 與フ「身」ニ「支」ルモノトナシ「來」議令ニ「礼」ル社会党ト密ニ「党」氏党ノ協力ニ内レ
 「身」ノ「中」心見ツ養フセリ「カ」党氏党、其ノ「情」意、其ノ「格」格ヲ「失」サレ
 「一」般内閣ノ「協」力ヲ「協」力ニ「加」シ「テ」アル「身」ノ「中」心見ツ養フセリ「カ」党氏党、其ノ「情」意、
 政令ニ「支」持ノ「意」意ヲ「探」ルモノ「ア」ラス「礼」令ニ「對」スル有「多」量ノ
 結束ニ「對」スル「支」持「ス」ル「意」意「内」閣「解」任ニ「對」シ「協」力セ「シ」トナリ
 新「閣」ニ「對」スル「支」持「ス」ル「意」意「内」閣「解」任ニ「對」シ「協」力セ「シ」トナリ

在瑞典日本公使館

右演説に依り粵民は保守黨中ノ左派ト提揚ヲ希望スルモイナシ
自由黨ハ數年未盡數次粵民黨ト提揚セントシタルモ粵民黨ノ保
守派ノみスル方人對ニ妨ケラレタルカ今ヤ粵民黨ハ西派ノ提揚ノ為ニ
如轉セリトナセリ

ニ、獨逸赤化資金募集年定事
十二月十九日當地入港ノ和南船ハ獨逸赤化資金募集用ノ空付冊子
ヲ多量ニ積載シテ、右當地奔リ、其後紐 Ny Day 社ニ宛テラレ
ルニナリ

三、穀物輸入ノ利益
瑞魯政府ハ十二月二十四ヨリ、穀物(燕麥、玉蜀黍、大麥及秣)ノ輸入ハ、
輸入ノ許可證ヲミヌタルニテ、輸入ノ手續ハ、右ノ國內穀物市場
ノ調整セシメテ、現在約三十八萬噸ノ上ニ過剩穀物ヲ有スル故ニ、先
ト麥ノ最低價格ヲ保障セラル右過剩ノ傾ルニ、故ノ損失ハ二億圓ニ
至ルニナリ

在瑞典日本公使館

上ルニナリ
四、ノベル」有リ受書者
一九三二年迄一九三三年迄、ノベル」有リ受書者左ノ通
物理学者「ウエナー・ハイゼンベルグ」(Prof. Werner Heisenberg) (ライプツヒ大学 教授) 一九三二年迄、水素同素体「重水」ヲ 「エルウイン・シュローレンガト」(Prof. Erwin Schrödinger) (ボン フォード大学教授) 一九三三年 「ライプツヒ」(Prof. P. A. M. Dirac) (ケンブリッジ大学教授) 一九三三年 「ライプツヒ」(Prof. Thomas Hunt Morgan) 「カリフォルニア・インスタチオト・オヴ・テラノロギ」教授 文學者「ブーミン」(著者)
今回ハ化學者及平和者ニ付テハ、受書者ナカリシカ(一九三二年迄、一九三三年)

在瑞典日本公使館

一、平和委員会、特別資金を編入せしめ、平和委員の授けをせしむるに、
 七月十日、同委員授け、十一月十日、皇帝敕諭、下、盛大に、戦争行はせしむるに、
 経済問題

経済問題

一、原産地表示方、内、法令公布

瑞典政府、或は控輸入品、は原産地の方、内、法令公布せしむるに、
 十一月、カマリ、実施せしむるに、原産地表示の、表示、禁止、或は、貨物の、税、内、
 あり、内、税、せしむるに、内、原産地表示、要する、貨物の、品目、
 附、原産地表示、指定、せしむるに、十一月、二十八日、内、地、新、貨物、指定、せしむるに、
 中、内、陶磁器、指定、せしむるに、其、他、在、邦、貨物、品目、多し、内、
 二、外口貿易

瑞典、内、外、貿易、の、増、加、は、往、後、と、ま、ら、ぬ、と、見、え、る、に、九月、十月、十一月、中、内、輸出、
 超過、二千、百万、冠、こ、え、る、に、九月、十月、十一月、中、内、輸入、九、億、九、千、二、百、万、輸出、九、億、七、千、
 二、百万、従、つ、て、輸入、超過、は、昨年、同、期、に、比、し、二、億、一、千、四、百、万、に、比、し、僅、に、二、千、万、に、
 在 瑞 典 日 本 公 使 館

在 瑞 典 日 本 公 使 館

内、外、貿易、の、増、加、は、往、後、と、ま、ら、ぬ、と、見、え、る、に、九月、十月、十一月、中、内、輸出、
 超過、二千、百万、冠、こ、え、る、に、九月、十月、十一月、中、内、輸入、九、億、九、千、二、百、万、輸出、九、億、七、千、
 二、百万、従、つ、て、輸入、超過、は、昨年、同、期、に、比、し、二、億、一、千、四、百、万、に、比、し、僅、に、二、千、万、に、
 在 瑞 典 日 本 公 使 館

三、船舶事業

船舶事業、の、成、績、は、往、後、と、ま、ら、ぬ、と、見、え、る、に、九月、十月、十一月、中、内、輸出、
 超過、二千、百万、冠、こ、え、る、に、九月、十月、十一月、中、内、輸入、九、億、九、千、二、百、万、輸出、九、億、七、千、
 二、百万、従、つ、て、輸入、超過、は、昨年、同、期、に、比、し、二、億、一、千、四、百、万、に、比、し、僅、に、二、千、万、に、
 在 瑞 典 日 本 公 使 館

十月	一、八、一、一、三、一
十一月	一、六、五、〇、七、七
十二月	一、五、五、九、六、三
四、木材	

在 瑞 典 日 本 公 使 館

男	三二九 六〇九	九九二八四	
女	六八一 二七	一〇四九四	
合計	三九七 七三六	一〇九 七七八	二七・六
大物債指表	(一九三・三二〇)	(括弧内は一九三三年相当表)	
十一月		十二月	
一般指表	一〇八・九(一〇七四)	一〇九・三(一〇六・七)	
原料	九二(九四)	九三(九三)	
生産用貨物	其他	一一〇(一〇五)	一一一(一〇五)
合計	九九(九八)	一〇〇(九七)	
消費貨物	二〇(二七)	二〇(二七)	
国内貨物	一一一(一〇九)	一一二(一〇八)	
輸入貨物	九四(九六)	九四(九五)	

在瑞典日本公使館

輸出貨物	一一七(一〇八)	一一八(一〇八)
一〇. 主要輸出入貨物指数	(一九三・三二〇)	(括弧内は一九三三年相当表)
十一月		十二月
石炭	九六(八九)	九八(八七)
小麦	七〇(七五)	六五(七三)
鉄錠	一〇一(一〇一)	一〇三(一〇二)
木材	一三三(一一〇)	一四〇(一一二)
メカニカルウエト	九八(八二)	九八(八七)
サルファイト	九九(八三)	九九(八三)

在瑞典日本公使館

(2) 丁林ノ部

(1) 國際内題

一、丁林外務大臣ノ報告此處合他前大會ニ於ケル演説
 十月二十日當此處合他前大會ニ於ケル「ムニ」外相ノ演説要旨左ノ如
 ク、吾等ノ經濟不況、政治的危機、予等ノ惡化セザル限リ終結スヘシ、丁
 林、政治的、何れノ不安ナソノ、對外經濟政策、經濟的、理由ニ依リ、
 一、決意セラルヘシ
 二、サレトモ丁林ノ、國內益ノ存スルヲ否ニス、カラス、一九二四年、一九二〇年、二五年
 ノ境對立、任此ノ投票ニ依リ、セカカ、丁林、合トナル部、分、少數ノ移、
 人、包含セラル、ムニ、已、コト、カ、サ、ク、又、移、合、ト、ナル、部、分、ノ、少數、ノ、丁、林、
 人、包含セラル、ムニ、事、ニ、サ、ナ、リ、サ、レ、ト、モ、之、等、ノ、少數、民族、他、ノ、境、地、帯、
 二、礼、ケ、ル、ソ、レ、ヨ、リ、モ、少數、ニ、シ、テ、且、丁、林、合、ト、カ、ル、移、合、人、他、生、ニ、見、セ、ル、
 自由ト奪取トヲ、ナ、リ、特、選、セ、ル、所、レ、リ

在瑞典日本公使館

従フテ、國內問題、内シ、移、合、ト、カ、ル、事、大、大、内、題、アリ、カ、ル、改、正、シ、テ、
 且、又、移、合、ト、カ、ル、事、内、シ、國內問題、内シ、提、議、提、議、シ、ル、コ、ト、ナ、キ、ニ、
 ナ、ラ、ス、部、ノ、移、合、政府、ノ、声、ノ、ス、ル、事、ニ、依、リ、且、政府、ノ、隣、口、ニ、對、シ、
 非、友、好、的、意、圖、ヲ、有、セ、ル、趣、ナ、リ

丁林ノ政策、内シ、即、各、口、ノ、自己中心主義ノ經濟政策ヲ、種、和、ス、ル、
 「オ、ス、ト、協、合、ニ、加、盟、セ、ル、諸、口、ト、協、力、ス、ル、ニ、ア、リ、大、衆、ノ、互、持、ノ、新、舊、ヲ、以、テ、
 ナ、ル、政、治、諸、口、即、北、歐、諸、口、和、蘭、石、炭、牙、瑞、西、等、ハ、大、衆、ヲ、未、採、リ、来、シ、ル、ト、
 同、時、ノ、政策、ヲ、採、ル、ヘ、ク、之、等、諸、口、ノ、主、要、九、任、務、ハ、調、停、系、ト、シ、テ、平和
 政策、ヲ、助、力、ス、ル、ニ、ア、リ
 右「ムニ」演説、極、端、ニ、カ、ル、事、矣、口、下、院、ニ、於、テ、オ、ス、ト、ン、サ、ハ、レ、ニ、カ、ル、移、合、ニ、丁
 林、ノ、移、合、ノ、動、向、ニ、對、シ、テ、カ、ル、事、比、シ、テ、之、ノ、是、正、ス、ル、モ、ト、シ、テ、滿、足、ノ、意、見、ヲ、
 表、シ、テ、カ、ル、事、ニ、對、シ、テ、丁、林、新、舊、ハ、ポ、リ、チ、ク、ニ、(カ、ル、事、自、由、主義)ハ、大、衆、ノ、
 左、ノ、如、ク、論、セ、リ

在瑞典日本公使館

其ノ及リ後ト政府ヲ支タル社会党及急進党ト在野党タル左翼トノ
 向ニ経済政策ニ由リ協成リハレ有ハ主トシテ十カ之達セントスル共産者
 枚格ト減少シツアル共ニ一ノ株多クベコトノ輸入増進政策ニ付スルニ
 事トシテ十二月ニ入り右ノ向ニ社会党急進党及左翼共産党ノ三派
 協成成立シ政府側ハ保ヲ支トシテ解ヲモ予想レタリタルモ同党ハ家
 大協成ト加入セズ左翼共産党ハ政府トノ協成ニ強硬及みナリ経済
 右協成ト付テ各派共ニ満足レ居ラズモノ如シ左協成トハ支「バスター」
 事ニ及ル増税其他増税者ニ及スル附加税ニ依リ約三千七百万リクニ
 庫収入ヲ圖リ失業枚格削減ニ及スル肉類及人造「バスター」廉價供給
 財政的方針之ニ臨ムル所ニ在リ又「バスター」又労働者組合ニ及スル方針ノ
 引下ヲナスルノ付テ増加借債ノ何れ借換ヲナサントスルモ「バスター」
 右ハ輸出ノ削減及農産品ノ價格低落ニ依リ困窮シ居ル所
 此ハ枚格ヲ主明トセルモノナル所自ナル他方労働者ニ付テは「バスター」

在瑞典日本公使館

及「バスター」ノ由リ協成ヲ強固ナラシメセハ「バスター」然る他ノ兆アリトナサレ居ル
 二、割リ下ナリ下
 十一月二十九日瑞典ノ礼ヲ記リ割リ下ナリニ分ヨリ五分五厘ニ引下ルルハ「バスター」
 之毎日同抄入現リ割リ下ナリ下ナリ行ヘリ右ニ分五厘ハ「バスター」ハ「バスター」未ダ有
 ノ何ナリナリ
 三、丁林皇帝ノ放送
 十二月二日丁林皇帝ハ「バスター」米ノ市民ニ及レ「バスター」新年ノ祝辞ヲ「バスター」
 放送セラルルカ右ハ「バスター」ブアドカスタン「バスター」ニ「バスター」仲分「バスター」米ノ各地
 ノ放送セラルル所ナリ
 四、「バスター」港築港契約
 「バスター」「バスター」港築港ノ有ナルハ「バスター」「バスター」マド「バスター」合社
 (Messrs Hoggard & Schults) ハ「バスター」ボルトガル「バスター」政府ト「バスター」マ「バスター」
 島「バスター」(Funckal) 港築港契約ノ締結セラルル所ナリ右「バスター」

在瑞典日本公使館

百不冠五ヶ年計画ナリト

五、支那、丁林技師招聘

丁林人、モグニス、ハンメル (Moguis Hammer) ... 新造者ハルムチ、兵器工

場改善ノ支那政府、何リ、雇傭、ラル、ノット、トル、超、ナルカ、(2) 人、ハ、ヨ、コ

(2) 工場、越、ケル、エ、ゲ、トル、フ、(Syltorp) ... 主、ト、ニ、テ、毒、気、新、製造、

当、ル、由、ニ、テ、右、製造、概、シ、モ、格、リ、ノ、若、ナ、リ、ト、尚、右、毒、気、新、製造、

ノ、有、ナ、リ、ト、セ、ル、レ、リ

(三) 経済内題

貿易概況

一九三二年

一九三三年

輸出貿易総額 八八五〇〇〇〇〇 九三五〇〇〇〇〇

貿易中原料輸入 二二一〇〇〇〇〇〇 一九一〇〇〇〇〇〇

輸出超過 六六四〇〇〇〇〇〇 七四四〇〇〇〇〇〇

在瑞典日本公使館

	十一月	十二月	一月
輸入	一九(九八)	一九(一〇五)	二六(一一二)
輸出	一〇(九〇)	九六(九六)	一一〇(一一三)
輸出超過	一八(八)	一三(九)	一四(一)

(二) 物價指數

卸賣指數 (一九三二) 十一月 十二月

輸入物價 十一月 十二月

生活指數 (一九三二) 十一月 十二月

生活指數 (一九三二) 十一月 十二月

生活指數 (一九三二) 十一月 十二月

生活指數 (一九三二) 十一月 十二月

生活指數 (一九三二) 十一月 十二月

生活指數 (一九三二) 十一月 十二月

在瑞典日本公使館

(丙) 議院ノ部

(一) 國內問題

十月十六日、行ハラル議院選舉ノ結果、労働党カ大勝ヲ博セルコトナル。當時
 憲報ニテハ、議院中及政權ノ轉移、北アリ、早クモ一月議院會合及
 政府ノ更迭ヲ予想スル向アリ。一、面労働党カ直ニ政府ヲ取リ、其ノ
 及ハ、深刻化スベシト、規則モアリ、又ハ右ノ在野ト對シテ、結果ヲ
 促進スヘク労働党ノ取リテ不利ノ結果ヲ生スヘトナスコトアリ。一月議院會
 合ノ時、礼ヲハ、議院中一致内閣成立スベシト、風説アリタル、モ、ウイニケル
 首相ハ、西ノ内閣トシテ協力ヲ要シ、殊ニ、経済政策ニ由ルニ協力最モ
 要シテ、此ノ一致内閣ノ如キ内閣ニアラス。如キ政府ハ、今日ノ文法
 政策ニ合致セズト述ベタル。此ノ議院會合、礼ヲハ不信任決議ノ成否ヨリ
 内閣ノ去來ハ決セラル、但シ、例モアリ、是ニテ、年内政府ノ更迭ヲ見ス
 シテ、予テ、經濟セリ

在瑞典日本公使館

(二) 經濟問題

一、労働党 (單位千フラン)	十月	十一月
輸入	114.4 (66.2)	58.7 (60.0)
輸出	49.9 (45.6)	52.3 (44.3)
輸入超過	14.5 (20.6)	6.4 (15.7)
二、農業		
本年初ニ、不況ナリ、年内、如轉シ、本年及明年、復舊ナシ、左ノ如シ		
一九三三年	60.1 (單位百フラン)	
一九三二年	53.0 ()	
三、船舶事業		
本年、比較的、不況ニシテ、船舶事業、増加セタルニ、因テ、但チ、利益力 リ、十二月、初、備前、未嘗有、數、達シ、リ、又、如、内、燃、機、船、力 蒸、汽、船、數、ヲ、凌、駕、シ、リ、亦、如、前、如、士、月、初、ハ、礼、ヲ、ハ、一、割、五、厘		

在瑞典日本公使館

一 瑞佛

□内尚題

瑞佛通市議會命令

一月十日瑞佛議會兩院開會多し、頭年長議員、演説アリ
 上院に於テ、トリツゲル氏 (Mr. Tenggren) ハ主トシテ國際關係不
 安ニシテ諸國ハ何レモ國防ヲ念トスルヲ要スルヲ説クハ、ホフルヲ
 アリ下院に於テ、アンダーソン氏ハ今年議會ハ極ク困難ナルヲ説ク、
 面シテ經濟問題ハ今議會ノ最大問題ナルハ、失業者ニ對シ
 補助金ヲ支給スルハ、之ニ對シ、仕事ヲ支ヘンコトヲ希望アリ右
 終ラテ兩院に於テ夫々左邊議員及副議長ノ選挙アリシ

上院 議長「ウニエルソン」氏 (m. Unersten) 保守党

副議長「オルソン」氏 (m. Olsson) 社会党

「ニルソン」氏 (m. Nilsson) 自由民主党

在瑞典日本公使館

下院 議長「ソールヴストロム」氏 (m. Sölvström) 社会党

副議長「ベンクトソン」氏 (m. Bengtsson) 自由民主党

「マグヌソン」氏 (m. Magnusson) 保守党

議會各派ノ分野ハ前々期ノ大ナル變化ナク、唯兩院に於テ死亡議
 員ノ未ク補缺シ見エモ、又昨秋上院之期改選ノ結果、農民
 党一名、社会党三名ノ増加シ、保守党及自由民主党ハ夫々一名自
 由党二名ヲ減サシ、今期議會、各派各派議員數左ノ如シ

黨名 上院 下院 計

社会党 (Socialdemokraterna) 六一 一〇四 一六五

保守党 (Högern) 四八 五六 一〇四

保守党系所屬 (Högerida) 一 二 三

農民党 (Bondeförbundet) 一九 三六 五五

自由民主党 (De Frisinnade) 一七 二〇 三七

在瑞典日本公使館

自由民主主義系(外属)	(Friskilda rida)	1	1
自由党	(Liberala)	2	4
共産党(左派)	(Lilborrskommunist)	1	6
同	(Silenin)	1	2
同	(Silenkommunist)	1	2
計		15	33
			38

次月十日皇帝陛下親臨ノ下、閣議アリ、恒例ノ通、勅語アリ、其ノ大意、如シ

「諸外國トノ瑞典外交関係ハ良好ナルニ付、年中ノ重要国際会議タル軍縮及世界経済会議ハ其ノ目的ヲ達セザリキ、今期議合、提出スル諸提案、右ノ事、悉ク適意スルニ至ラズ、取リ急ムルモ、ニシテ、瑞典ハ国際聯盟ノ一員ニ資格アリ、其ノ国際協力ノ為、努力ヲ繼續セトスルモノナリ」

経済局ハ、或種部内、其ノ改善セシテ輸出ノ増加、仰リ、貿易ノ均衡ヲ好轉セシメ、経済局一般ノ不況ハ未ダ著シク改善ヲ見ス、不況ノ繼續

在瑞典日本公使館

「諸外國トノ瑞典外交関係ハ良好ナルニ付、年中ノ重要国際会議タル軍縮及世界経済会議ハ其ノ目的ヲ達セザリキ、今期議合、提出スル諸提案、右ノ事、悉ク適意スルニ至ラズ、取リ急ムルモ、ニシテ、瑞典ハ国際聯盟ノ一員ニ資格アリ、其ノ国際協力ノ為、努力ヲ繼續セトスルモノナリ」
経済局ハ、或種部内、其ノ改善セシテ輸出ノ増加、仰リ、貿易ノ均衡ヲ好轉セシメ、経済局一般ノ不況ハ未ダ著シク改善ヲ見ス、不況ノ繼續
「諸國トノ財源ノ困窮セシメ、失業ハ、経済ノ好轉ニ拘ラズ、依然ナリ、政府ハ本年、其ノモホ、高工業ノ維持ノ為、大ニ努力シ、且個人ノ枚房ヲ、カスツ要ス
農業、牧畜、林業、非常措置ヲ、必要トスル事、悉ク在リ、起ル、穀物、飼料、肥料、及、鶏卵ノ問題、ソレ等、新ニ、農業、林業、上ノ施設、及、農村、失業、枚房、適切ナル措置、要スル、經費、支出、要ホ、スルト、同時、農民、貸付、ノ、支出、要ホ、ス
失業、尚、面スル、困難、失業、者、其、シテ、資金、貸付、ヲ、要ホ、セサル、ハ、又、工、匠、保護、案、ヲ、提出、ス、ル
失業、対策、失業、者、多、シ、今、ノ、事、業、繼續、ノ、為、經費、支出、ヲ、要ホ、ス、ル、且、公、企、業、中、心、ノ、有、限、電、化、可、業、計、劃、ノ、為、經費、支出、ヲ、要ホ、ス、ル、シ、失業、者、ヲ、農、業、ニ、誘、導、セ、ル、ノ、案、研究、中、ナリ
失業、保険、問題、ヲ、再、ヒ、提出、シ、研究、ヲ、ホ、ム、ノ、方、人、々、其、ノ、財、政、的、扶、助

在瑞典日本公使館

之法律案提出せらるる海上労働者之法律修正案、新
 道路法案、故橋の及道路ノ修理法案、北陸道の改善法案、
 強請禁止法案、生産力制限案（「ステリリゼーション」）十什料法案、
 「オースティン」煙草規則案提出せらるるハ、又之並に公企業内保身保
 者退職恩給法案、起年ナリ
 前年同様予算ノ編成ニ付テハ、即約トモモ市町村、村、町、村、
 國庫補助、公企業公債元金償却及徴兵利息支拂費ハ、支出増
 カツト要ナラシメ、右ハ通常ノ収入ヲ以テシテハ、全部ヲ掩ヒトサリシ
 結果、前大財産ニシテ、輕重ノ増稅ヲ提議ス云々
 (二) 本年之予算案提出
 一月十日ノ議會開會ノ際、大蔵大臣リ別項ノ如キ本年之予算案
 ノ提出アリ、此ノ歳出入予算額十億五千四百六十八万四千六百圓ニシテ
 前年歳出入予算額、比シ約四千一百四十万圓ノ増加ナルカ、右増加ハ

在瑞典日本公使館

歳入ノ部ニ於テハ、主トシテ特別財産稅ノ新設シ、五万圓以上ノ財産ニ對シ
 特別稅ヲ課スルニトシ、其ノ收入千二百萬圓ヲ計上シ、相續稅、付テモ同額五万
 圓超ニ相續財產ノ額ノ稅率ヲ增加シ、六百萬圓ヲ見積リ、印紙稅、千
 圓人造「パシ」及酒稅、夫々約五百萬圓ヲ見積リ、右ハ外、公企業收入、千六百
 萬圓、債局收入、九百八十萬圓、其他四百萬圓ヲ見積リ、右ノ依ルモノニシテ
 又歳出ノ部ニ於テハ、前年之予算、比シ、社會者費、九千八百萬圓、
 防費、九千八百四十萬圓、大蔵省費、九千八百三十萬圓、農商務省費、九千七
 百七十萬圓、夫々増加見積リ居リ、又、郵政省費、九千六百萬圓ヲ、即約見積
 リ居レリ
 大蔵大臣、右予算案、提出、由リ過去一ヶ年、一般經濟状態、概テ
 概況ヲ述ベ、諸國ノ於テハ、生産制限及消費制限ノ政策、ヨリ、貿易ハ
 幾分好轉シ、昨年ノ議會、通過セル通貨政策、ハ、施シ、一般物價、標準ハ
 比較的安定シ、從テ、瑞貨、徐々ニ下落シ、又國內信用市場、円滑ヲ加ヘ

在瑞典日本公使館

(1) 内閣事務の妨礙を呈し来りたりトテ事業費用の増減ハ已ニ恒久性ヲ有ス
 至ルルヲ如キ口吻ヲ決シテ其ノ將來に付テハ高懸シ或ハ本年より予金等
 之付前年より多額ナルハ外見ニ過クテ之ノ鉄損補額ノ百二十万の内
 之即約シ財産移及相續税合計約千八百萬圓ヲ見積リヨルモノニシテ右財産
 税及相續税ノ外一般直接税及消費税ノ増税ニ付テモニアラサル
 後ノセリ
 (三) 本年予金等事

一歳入予算	六四八、〇〇〇
(1) 租税	一〇五〇、〇〇〇
人頭税	一四一、〇〇〇
僧侶税	二一、二〇五、〇〇〇
所得税及財産税	七五〇、〇〇〇
自動車税	

在瑞典日本公使館

南税及酒稅	三五八、〇〇〇
(2) 手数料	一八〇、八〇〇
(3) 雜收入	九五二、四三五
(4) 官費收入	九九五、一七〇
(5) 立錫り利益金	一三〇、〇〇〇
(6) 公債局收入	二一八、七五〇
(7) 公有財産收入	五八二、六六五
(8) 公債	二四一、〇九四
歳入予算合計	一〇、五一、六八四
二、歳出予算	
(1) 經常費	一、三〇四、六五〇
皇室費	一〇、三六七、一九三

在瑞典日本公使館

外務省費	三、八七九、六〇〇
口防省費	九七、八二五、八一八
社会省費	四八、三五〇、一八〇
交通省費	二一八、〇三一、〇〇〇
大蔵省費	四一〇、〇〇五、五〇〇
文部省費	九三、四九五、六五九
農務省費	一四、二四三、一五〇
商務省費	九四、七九七、〇〇〇
内務省費	九、四五〇、五五四
計	三、五一一、二〇九、一〇三
(2) 臨時部	
皇室主費	三、三九三、三五〇
司法省費	三一一、〇九〇、九〇八

在瑞典日本公使館

外務省費	三、三〇八、六〇〇
口防省費	一、三四七、二八八、二
社会省費	九〇、八二三、八二〇
交通省費	六三一、六四〇、〇〇〇
大蔵省費	一、三四四、二五〇、〇
文部省費	四六、三三五、三四一
農務省費	四〇、八四二、八五〇
商務省費	一八七、〇四〇、〇
内務省費	三三〇、六三三、五四六
計	二、九九七、五四一、九七
合計	六、五〇九、六三三、三〇〇
(3) 予備費、他	
予備費	一、〇〇〇、〇〇〇

在瑞典日本公使館

二月のストライキは、わが新政党 National Socialist Block の一員
 会合アリタルカ同志者等、マルケン エウストローム 大佐 (Colonel Martin Eriksson)
 ト称シ同党ハ各種ノ人トヲ抱擁スルモノナリ 殊ニ文武ノ要員ナル者ナリ
 因ニ瑞典ニ於ケル「ナショナル・ソシアリスト」系団体ハ右ノ「フリーユール」(Frivard)
 ナルモノ「ナリンドホルム」(Kindholm) ナルモノ、キキルモ「トリ」何レモ主トシテ學
 生々下層階級ニ合致ス有スルニナリ
 (六) 建築労働者等ノ解決法
 當口建築労働者、昨年四月労働契約ノ更新ニ際シ新労働契約
 ニ不服ヲ唱ヘ、往主ト「ア」ノ争議ヲ開始シ政府當局ニ於テ調停
 ニ努メタルニ解決ニ遷延セラルリタルカ二月十四日政府提出ノ調停案ハ
 自保労働者一四八九名ノ要求アリシニ、六三三名ノ承諾スル所トナリ
 同社キキル労働者直ニ、労働スルニ至レリ右ノ角ニ共産社「フォルケツト
 シーゲブラッド」紙ヲ除キ諸新聞ハ何レも満足ノ意ヲ表シ在りテ争議ノ

在瑞典日本公使館

内閣解決ニ「リ」ファシスト運動ニ乗スト機合ツテ「ナリ」シテ
 (七) 社会主義者ノ示威運動
 二月十日各地社会主義者、埃口政府ノ社会党彈圧ノ同情シテ
 シズカニ「ナ」ヲ示シテ示威リ到リヘルカ右ノ各如クモ「一」五千人ト
 稱シテ下院議院「リ」ニセ (Bruse) 「ソニアル」テモ「ラ」ニ主筆「ホルグランド」
 (S. Hoglund) ハ「何」レモ「ファシズム」ニ対シテ演説ヲリヒ「スト」フ「ホルム」
 社会主義市民及労働者「示威」運動ナリト埃口政府ノ「社会主義」
 彈圧ニ對スル憤懣心ヲ表スルカ「ハ」演説ヲナシ「デ」モ「ク」ラ「シ」及自由擁護
 「ニ」然ルヲ同「シ」同「時」格「差」シ「意」ハ「議」ヲ「查」放「火」犯「人」ト「シ」テ「五」車
 「ノ」モ「ヲ」監禁シ「ル」モ「ト」ナシ「之」埃口「意」ヲ表シ「其」即「時」釈放
 「カ」ヲ「要」請セル「事」ナリ
 (八) 際内題
 (一) 外債ル子不掛、内ス外務抗屋

在瑞典日本公使館

一月十日諸新中、瑞典政府、在獨瑞典公使、にシ獨逸ノ外債
 利子不拂、由シ獨逸政府、抗厚分訓令セル旨ヲ報レ右政府ノ
 措置、満足ノ意ヲ表ス

(二) レットニーノ外相ノ来訪

一月十日、レットニーノ外相アリ「サルナイス」ストラスブルクニ来リ、瑞典外相
 サンドラトト瑞典「ラトウイ」ノ通商内閣、又文化ノ事業、爲レ合議セル趣ナリ
 瑞典外相ハ「サルナイス」ノ協約内招待ノ受諾セル趣ナリ、亦瑞典外相ハ一月
 十三日、教廷使節會ヲ借レ、瑞典「ラトウイ」協會、に於テモ、教廷「レボニシ」ニ
 於テ、知ナリ(三月七日附報、参考ナリ)

(三) 瑞典自可義協會設立

一月十六日、当地自可義公使、に於テ、瑞典自可義協會、発令、ド、ヴィンファミ、ド、ソリン、又、
 同協會役員、左ノ如シ
 名譽会長、在瑞典自可義公使、勇、ド、ヴィンファミ、ド、ソリン、又、氏

在瑞典日本公使館

会長、勇、ド、ヴィンファミ、ド、ソリン、又、氏

副会長、エム、エー、ラブラントル、氏

(四) 埃瑞新正商條約成立

一月二十日、埃本列商部、正信、大リ、「ストックキング」(M. J. Stocking) 通商
 交付ノ自由、ソ、スタ、ノ、ホル、ノ、末、着、セル、ノ、二十日、当地、最大ノ、日、貨、店
 ニ、テ、婦、人、流、リ、所、見、合、ソ、リ、ヒ、ニ、テ、埃、瑞、協、會、ヲ、主、催、ノ、趣、也、合、ハ、リ、埃、
 國、通、商、政、ニ、對、シ、諸、條、約、ヲ、在、地、埃、國、公、使、ハ、二十四日、同、大、リ、
 右、ニ、瑞、典、全、業、工、業、者、ヲ、招、待、シ、ラ、キ、合、會、ヲ、催、シ、翌、二十五日、ストック、
 商、業、會、展、ヲ、公、開、出、協、會、研、究、會、ヲ、設、キ、テ、協、會、ヲ、開、キ、
 同、大、リ、当地、滞、在、中、一月、二十六日、埃、國、瑞、典、正、商、條、約、國、務、省、に、對、シ、同、條、約、
 ハ、二月、十四日、瑞、典、展、會、上、程、ナ、リ、三月、七、日、埃、國、瑞、典、正、商、條、約、
 款、ヲ、基、礎、ト、シ、有、効、期、ヲ、一、年、ト、シ、六、月、前、ニ、至、ル、旨、ヲ、報、ス

在瑞典日本公使館

以上更ニ其ノ効カヲ述テスルモニシテ同条約所屬「プロトコル」ハ
 西口一國ハ其ノ輸出ヲ阻ルル輸入制限ヲ設ケル場合ニ於テハ
 其ノ輸出ノ協定ヲ要スルコトヲ以テ同協定ハ六國ノ以內ニ何モ
 結果ヲ得サル場合ハ同國ハ六國ヲ及ビ、其ノ條約ヲ廢棄セラルル
 事ナリ

(五) 「フリードリッヒ・フェルディナント」大公薨逝
 一月二十日獨逸「カール」ハ「フリードリッヒ・フェルディナント」大公 (Friedrich
 Ferdinand, Duke of Schleswig-Holstein-Sonderburg-Platen) 薨
 逝セラルルコトハ同大公ハ瑞典皇太子妃「シビラ」殿下ノ親父君ニ當リ
 之ニ、内親王アリ皇太子「グスタフ・アドルフ」殿下同妃殿下ハ其ノ養
 子ニ列セラルルニシテ、一月二十四日同月三十日迄六日同宮中
 ヲ齎セラルリ

(六) 白國皇帝山崩御

在瑞典日本公使館

白國皇帝「アルベルト」ハ「古陛下山崩御」報瑞典ニ付ヘラルルニ
 瑞典皇室ハ三月三日「宮中」薨逝セラルル皇太子「グスタフ・アド
 ルフ」殿下瑞典皇太子陛下ノ内親王トシテ「ブラッセル」ハ其ノ養子
 ニ列セラルル外皇帝「カール」殿下ニ毎白國皇帝太子妃「アストリッ
 殿下」ノ父君ニ當ラセラルル内親王トシテ列セラルリ

(七) 佛瑞下通商協定成立

三月二日當地ハ其ノ佛瑞下通商協定之調印セラルルハ在リ瑞典
 ハ佛國ニ對シテ輸入増加ト交換ニ對シテ佛輸出割當額ヲ増加セラルルニシテ
 佛國ハ其ノ輸入割當額改正ノ結果降格セラルル事ナリ

(八) 在獨瑞佛新報記者追放

在伯林瑞典電報通信社 (Agence Telegraphique Suédoise) 又
 其ノ「ベルナル・スワンストロム」獨逸政府ヨリ理由不明ニ對シテ四月二日
 獨逸退去命令ニ接セラルル事二月三日當地ニ報セラルルハ在リ

在瑞典日本公使館

之ニ瑞典ナリト云ク「ドイチェナハリヒラン」通信員「オーリンゲン」(Obernberg)ニ
 瑞典滞在ヲ拒絶シタルノ内信アルヘキモ同人之外口ノ滞在ニ必要ナル
 手續ヲ有サズニ存生シテ政治的宣傳ヲ行ヒ各タルモトナシテ其地外
 へ紙々何レニ在獨逸政府ノ措置ニ對シ報復スルニ計画ケルカ三月
 中旬更ニ瑞典新外相者「ムント」(Muntz) 獨逸退去命令ニ接セル期
 ナリ在獨逸瑞典公使使領事ヲ獨逸ナクシテ退去命令ノ理由ヲ照會
 セルモ未ダ其ノ明ニ示ナキ趣ナリ
 (九) 和蘭皇太子何陛下崩御
 和蘭皇太子何陛下崩御ニ付瑞典皇太子ニ於テハ三月三日ニ於テ
 及九日三月三十日發布アリ「エーデ」殿下御葬儀ニ至リセラレタリ
 三 經濟問題
 (一) 外口貿易
 瑞典外口貿易一月及二月、凡ナル輸出入額左記ノ如クニシテ一月ニ

在瑞典日本公使館

<p> 凡ノ前年一月ニ比シテ輸出入共相當増加シ輸入超過、前年一月ノ千二百萬 圓ニ比シ相當減少シ八百八十萬圓ニシテ十年以來最低ノ記録ヲ示シテ輸入 額ノ前年一月ニ比シ輸入物ノ部、凡ノ原料及加工品共増加シ千三百四十萬 圓ニシテ千三百三十萬圓ニ増加シ輸出額ノ前年一月ニ比シ製紙原料ノ部ニ於 テ千五百二十萬圓ニシテ千六百萬圓ニ増加シ船舶ノ部、凡ノ千三百三十萬圓 ニ増加シ其ノ製紙原料ノ部、凡ノ千三百三十萬圓ニシテ千六百萬圓ニ増加シ其ノ 主トシテ鉄鋼、鉄條、鉄製品ノ輸出増加ニ依リ二百五十萬圓ニシテ千三百四十萬圓 ニ夫々増加セリ二月ニ於テハ工業原料ノ輸入増加相當顯著ナルモノアリ輸入超過 二千三百七十萬圓ニシテ前年一月ノ千六百萬圓ニ比シ増加セリ </p>	<p> 輸入 一月 九八八(八〇・六七) 八九三七(六七・五五) 八八八 二月 九〇一(七五・四) 六六四(五九・一) 三三七 </p>	<p> 輸出 一月 九八八(八〇・六七) 八九三七(六七・五五) 八八八 二月 九〇一(七五・四) 六六四(五九・一) 三三七 </p>
---	--	--

本木材、前年一月輸出額十二萬五千「スタンバート」ナリニ比シ本年一月ニ於テハ

在瑞典日本公使館

三十二万五千「スタンダード」引込契約アリ右トシテ英ロシカ「ソ」解邦木材ノ輸入減少セシムトナレル物ル物ニテ三月中旬現在木材需部「約」五十万「スタンダード」より前年同如ク允ケルニ倍ヲ超ユル由ナリ

「パイドボア」之同物好況ニ轉シ價格ト昂昂ノ傾向ニ在リ前年同如ク比シ著シク市場好シク「パイドボア」「ボアシミツ」二月末已、一ヶ年ノ予言生産額ノ約半額ノモトニシテニシテナリ

金銀、同物好況ヲ示シ價格ノ上昇徐々ナル確言ニテ輸出額一月及二月と前年同如ク比シ約五割増加シ鉄鑛輸出額一月中二十万噸二月中二十四万四千噸ニシテ一九二九年比最大ノ輸出ナリ従フテ其ノ生産額モ増加シ一月中生産額鉄ハ三万五千八百噸より鑛鉄ハ五万六千四百噸ナリ

一月末ノ鉄鑛各製紙原料價格左ノ如シ

(1) 北米欧州諸港位段 (運賃保険込)
 漂白「サルファイト」 十一磅乃至十一磅十先

在瑞典日本公使館

半漂白「サルファイト」 九磅乃至九磅二先六片

硬性「サルファイト」 八磅乃至八磅五先

(2) 北米大洋岸諸港位段
 硬性「サルファイト」 百ポンド、百一、百八五乃至(一九二九年)

(3) 英ロシカ (運賃保険込)
 硬性「メカニカルパルプ」 二磅乃至二磅七先六片
 軟性「メカニカルパルプ」 百磅(西岸諸港各船位)

(二) 製紙機械對支輸出
 瑞典ノ對支輸出ノ最近増加ノ傾向アリ即一九三一年、九ヶ年ノ對支輸出約八百万圓ニシテ一九三二年、九ヶ年約千二百萬圓ナルカ一月二十日當地對支輸出即ヨリ瑞典會社ニ對シ價格四百萬圓ノ製紙機械ノ注文アリタル事報セヨレシカ 當地佛ロ高會社「カリス」二月廿一日上瑞會社「カリス」
 「カリス」 「ケニス」 (Karlskrona Mekanismen Verstat) (一) 瑞東支會社

在瑞典日本公使館

④ トノリ製紙工場機械塔付カ、由シ契約成リル趣報セリ
 ⑤ 一九三一年に於ケル瑞豊製紙機械生産額ハ五百万冠ニシテ一九三二年
 に於テハ三百六十万冠ナルカ右ノ中輸出ハ十八万冠ナリ

(三) 労働状況
 瑞豊労働状況ハ一月ニ入リ改善者數相當ノ減少ナリ二月ニ入り別項
 ノ如ク建築関係労働者半減了レシ新労働契約ハ三ヶ年有効ナル
 為労働状況定テ又木材市場ノ好轉ヨリ木材労働者ノ需要旺盛
 トナリル也ナリ

(四) 「アルミニウム」製造会社設立
 今般瑞豊に於テ資本金百二十万冠ノ株式会社「アルミニウム」製造会社
 社設立セリシル也ナリ同社資本ノ一部ハ諸個人ノ出資、係リ王立工業学校
 長「アッセル・エフ・エンストロム」(Axel F. Enstrom, directeur de l'École
 des Royal des Sciences Techniques) 取締役、スウェーデン「ダールエルウエン

在瑞典日本公使館

ハ沿岸「モンズブー」(Montsbo)ニ工場ヲ設テ同工場ハ本年十月竣
 エノ了定テ千八百噸ノ生産能力ヲ有スルモノナル也ナリ

(五) 卸賣物價指數

	一月	二月	三月
輸出品	一一八	一一八	一一八
輸入品	九五	九六	九六
(一) 産品	一一四	一一三	一一四
消費供物	一一〇	一一〇	一一〇
原材料	九八	九九	九九

(一九三一年平均係数ヲ一〇〇トス)

(六) 海運
 海運界ハ於テ昨年末ヨリ運賃上昇ノ傾向アリタルヲ二月ニ再ビ下落シ二月
 初に於テ概然於前年同月ト客同額ニシテ百八十五隻(前年一月)

在瑞典日本公使館

情報部

第通外一四二号
 昭和九年九月十日
 在瑞典
 特命全權公使 白鳥敏夫
 外務大臣 廣田弘毅 殿
 北政三回事情報告ノ件
 本年四五及六月ノ三月
 係ノ通リ報告ス方査閲相成方

在瑞典日本公使館

札ノ百八十二度ナリ
 三月初、札ノ四八〇四八
 三月、五〇三三三
 三月、五〇三三三

在瑞典日本公使館